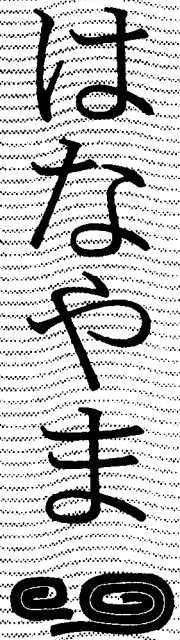


平成 21 年度

# 5月24日に総会

## 仙台市福祉プラザで



発行  
社団法人  
**宮城県芸術協会**  
(郵便番号 980-0803)  
仙台市青葉区国分町 3-3-7  
宮城県民会館内  
電話 (022) 261-7055  
FAX (022) 214-5184  
E-mail:miyagi-geikyo@sunny.ocn.ne.jp  
編集 小山喜三郎

平成二十一年度の宮城県芸術協会定期総会が五月二十四日(日曜)午後二時三十分から仙台市青葉区五橋の仙台市福祉プラザで開催される。議題は平成二十年度の事業・決算報告と二十一年度の事業計画案と予算案だが、二十一年度は協会創立四十五周年に当たり記念事業が計画されている。総会前の午後一時三十分から小池光仙台文学館館長の記念講演(別項)がある。会員多数の出席が望まれるが、出席が無理な場合は委任状の提出をお願いしたい。

### 創立45周年で記念事業

総会は議長選出ののち平成二十年度の事業実績と収支決算を担当理事が報告、続いて平成二十一年度の事業計画案と予算案を提案。質疑応答のあと採決に入る。

芸術協会が創立されたのが昭和三十九年なので平成二十一年は四十五周年となる。これを記念し特別事業を計画。記念事業実行委員会がスタート。「芸術ふれあい広場Ⅲ」を九月二十七日にせ

んだいメディアアテーク一階での実施を決めた。小委員会では洋楽や邦楽、舞踊などのコラボレーションを目論んでいるが、目下細目は検討中。

そのほか記念絵画展を平成二十二年一月十九日から二月二十五日、メディアアテークの

### 彫塑から彫刻へ 名称変更

彫塑部の名称が彫刻部に変更される。三月十四日の理事会で提案され、承認された。

細則で理事会承認があればよいので、当日からの名称変更となる。主任は佐藤淳一氏。

海外研修旅行は「世界遺産・武陵源と馬王堆漢墓など」を七月五日から十一日までの日程で実施する。

### 「東北の人」 茂吉と啄木

小池仙台文学館長が講演  
五月二十四日の総会に先立ち午後一時三十分から仙台文学館館長小池光氏の「東北の人」茂吉と啄木」の演題で、約一時間の講演がある。

小池氏は平成十九年四月に第二代仙台文学館の館長に就任された。歌人。昭和二十二年に宮城県船岡町(現・柴田

町)に生まれた。直木賞作家の大池唯雄が父。東北大学理学部大学院卒業。埼玉県在住。学生時代から短歌の創作を始め、現在「短歌人」編集人。歌集に『バルサの翼』(現代歌人協会賞)『草の庭』(第一回寺山修司短歌賞)『静物』(芸術選奨文科大臣新人賞)『滴集』(斎藤茂吉短歌文学賞)『時のめぐりに』(迢空賞)など、評論集に『茂吉を読む』五十代五歌集(前川佐美雄賞)などがある。

書道展・工芸展をトップに絵画、華道、彫刻、写真展を順次開催。移動展は絵画・書道展が大河原町と登米市で、工芸展は栗原市で、写真展は石巻市雄勝で開催の予定。

文学散歩と文芸年鑑発行、文芸祭や茶会、音楽会、長唄演奏会を例年通り実施。

国際交流は仙台・大邱交流音楽会、宮城県と吉林省の交流会は京劇を、それぞれ仙台市で開催の予定である。

# 大邱との交流音楽会

## 仙台市青年文化センター 6 月 21 日に開催

ソプラノ独唱、ピアノ伴奏は渡辺真理さん。福原佳三氏のピアノ独奏や鶴岡たみ子さんのマリンバと石垣弘子さんのピアノの合奏のほか、韓国伝統音楽や器楽演奏など盛りだくさんの演目が組まれている。

韓国芸術文化団体総連合会大邱広域市連合会一行は、六月二十日に来仙され交流を深め二十三日に離仙される。

なおこの交流会は回を重ねて十四回。初回の絵画・写真展以降、音楽会や工芸展、茶会、伝統音楽会と分野を広げ毎年多くの来場者の好評を得ている。

日韓国際交流の仙台・大邱交流音楽会が六月二十一日午後四時から仙台市青年文化センターで開演される。芸協音楽部の渡部ジュディスさんの

**特別賞に 3 人**  
ピアノ・コンクール  
第二十九回となった県芸術協会主催の音楽コンクール

## 東北・北海道芸術文化団体協議会

### 6 月 3 日から書道展 宮城から 17 人が出品

東北・北海道芸術文化団体協議会と宮城県芸術協会共催の書道展が六月三日～七日ま

で東京エレクトロンホール五階展示室で開催される。各道県からの出展は七点以内。宮

エレクトロニカル  
エホ

(ピアノ部門)の本選は三月二十九日(日)、仙台市戦災復興記念館で行われた。二月二十二日の予選には百一人が参加、三十五人が本選に進んだ。

受賞者は次の通り。

〔初級〕最優秀賞 貝森花音 (富谷町立あけの平小二年) 優秀賞 関 愛恵 (仙台市立立町小三年) 田村彩芽 (東松島市立赤井南小四年) 奨励賞

志村聡佳 (仙台市立立町小二年) 渡部朱明 (利府町立利府第二小五年) 作曲者賞 貝森花音 (前述)

〔中級〕最優秀賞 丹野朝日 (仙台市立五橋中二年) 優秀賞 団 佳歩 (仙台市立八乙女小六年) 奨励賞 久保文乃 (仙台市立加茂小三年) 佐藤優里香 (仙台市立住吉台中二年) 作曲者賞 団 佳歩 (前述)

〔上級〕最優秀賞 葛原 寛 (仙台市立高森小五年) 優秀賞 松野秀映 (仙台市立第一中一年) 奨励賞 蒲生直央 (仙台市立桂小六年) 八子実久 (宮城教育大学附属小六年) 作曲者賞 葛原 寛 (前述)

〔特別賞〕宮城県知事賞 葛原 寛 (上級) 仙台市長賞 貝森花音 (初級) 河北新報社賞 丹野朝日 (中級)

## 杜の都大茶会 5 月 30、31 日に

### 台園 勾当公

第十四回杜の都大茶会は五月三十日(土)と三十一日(日)の両日、仙台市の勾当台公園で開催される。河北新報社との共催。

茶券は前売りが千円、当日

券は千二百円。流派ごとの茶席日程は次の通り。

5 月 30 日 武者小路千家、玉川遠州流、文雅静庵流、三彩流、江戸千家、表千家

5 月 31 日 織田流、遠州流茶道、清泉幽茗流、石州清水流、宗徧流、大日本茶道学会、裏千家

方面の旅」が実施される。弘前の藤田正堂漆工房、津軽伝承工芸館、青森の棟方志功記念館、青森県立美術館、三内丸山遺跡などを見学の予定。宿泊は黒石市「花禪の庄」。

参加費は一人二万九千円。募集人員は四十人。工芸・茶道部会員に限らない。申し込み締め切りは六月十九日。芸協事務局 0222-2617055 まで。

## 弘前・青森方面の旅 工芸・茶道合同研修会

弘前・青森方面の旅  
工芸部・茶道部の第五回合同研修会が六月二十七日、二十八日の両日「弘前・青森

会員の入賞・入選など  
第 20 回日本陶芸展入選 (工芸部) 橋本昌彦、藤山敏子

第 52 回農民文学特別賞 (詩) 鹿島茂

# 好評「宮城の気鋭展」

## 「県芸術祭絵画部門」 受賞者が小品制作

第四十五回宮城県芸術祭絵画展の日本画と洋画の部門において受賞した作家と賞候補に入った作家による「第一回宮城の気鋭展」が一月十日から十九日まで青葉区大町のLBギャラリーで開催された。

当初、気鋭展は予定されていなかったが、昨年六月に開催された前年度芸術祭受賞者による東北・北海道交流絵画・写真展が引きがねになって、今年度の受賞者から何らかのイベントの開催の希望が数多く寄せられていた。これらの希望とLBギャラリーからの希望と無償提供が相俟つたもので、第一回宮城

の気鋭展の開催が急ぎよ実現されたもの。

第一回展には日本画で宮城県芸術祭賞を受賞した宮澤早苗さんの「初収穫」や同洋画部門受賞者の三浦一博さんの「MAY U-2009」の出品があり、

小作品ながらも存在感を見せていた。出展は二十六点。

この展覧会は今後も分野が広がる可能性もあり、また、若手や新進の人たちが発表できる道すじになるものと期待されている。

### 象潟・鳥海山方面へ

絵画部スケッチ研修会  
5月16、17日に実施

絵画部恒例のスケッチ研修会「象潟、鳥海山(秋田)方面」は、五月十六日と十七日に実施する。今年度は秋田県方面。

募集人員は四十人だが、絵画部員だけでなく芸協会員ならだれでも参加できる。多数の参加を期待している。参加費は二万五千元。申し込みは芸協事務局(022(261)7055)まで。

定員に達した時は締め切ることもある。日程とコースは次の通り。

### 会費納入のお願い

新年度を迎えました。平成二十一年度会費は同封の郵便振替で五月三十一日までにご納入ください。お願いします。

なお、自動払込の手続きをされている会員は指定の口座から四月三十日の引き落としとなります。お手配をお願いいたします。

自動払込は多くの会員から申し込みをいただいておりますが、前述の郵便振替によるご納入の方々にもご協力をお願いいたします。

宮城県芸術協会参事で平成二十年度地域文化功労者文部科学大臣表彰を受賞した日本画家高倉勝子さんが、出身地の登米市に日本画と水墨画の計九十三点と展示施設を寄贈することになった。地域の芸術文化活動の拠点となる美術館として、九月開館を目指す。河北新報によると、贈られるのは、日本画八十五

## 出身地登米に美術館

日本画家の  
高倉勝子さんの  
生涯の作品と寄贈

験を基にした「原爆の図」(二〇〇七年)など、初期から近作まで幅広い作品が含まれている。

局登米支局がある市有地約千百八十平方メートルに建設。延べ床面積は約三百四十平方メートルで常設展示室と

展示館は、同市登米町の旧水沢県庁舎や武家屋敷「春蘭亭」などが立ち並ぶ地域の一角で、現在は旧仙台法務局蔵庫、多目的室、ギャラリーを設ける。総事業費は約一億円を見込んでいます。高倉さんは一九二三年、登米市登米町出身。女子美術大学日本画部卒。河北美術展では受賞歴を重ね、現在同展顧問。高倉さんは「作品を後世に残すとともに、古里の文化活動の活性化の一翼を担いたい」と話している。

### 運営委員を委嘱

各部で開催された運営委員会において、次のように運営委員の委嘱があった。

〔工芸部〕 鍋田尚男（ガラ）  
 〔文芸部〕 岡本弘子（短歌）、佐々木幸子（俳句）

〔音楽部〕 門脇磨美子、小林郁、佐藤博幸（洋楽）。

また、〔文芸部〕 伊達忠敏（短歌） 〔音楽部〕 大崎健二、佐々木隆二、斎藤功一（洋楽） 〔彫塑部〕 星真子、星利宏の各氏は辞任した。

☆第10回一波書会かな書作展  
 4月17日～4月20日  
 東京エレクトロンホール宮城  
 展示室

### 受贈書

詩集「山麓の村」（鹿島茂）、歌集「老楽の……ころみの囀」（牛島富美二）、歌集「無冠の森」（熊谷龍子）、句集「光の子」（高橋昭子）、『宮城の現代詩2008』（宮城県詩人会）、『金属・鉱物地名を解き明かす』（宮川長二）・句集「結葉」木の会作品集②（木の会）、句集「断面」（永野シン）・詩集「水離る」（前原正治）、句集「膝蓋髓反射」（石母田星人）

### 謹 弔

文芸部（短歌） 佐々木忠治殿  
 平成 20 年 1 月 29 日  
 茶道部（表千家） 佐藤宗敬殿  
 6 月 6 日  
 茶道部（三彩流） 高野漢泉殿  
 12 月 31 日  
 文芸部（俳句） 大場光奈殿  
 平成 21 年 1 月 1 日  
 絵画部（日本画） 金沢光策殿  
 2 月 5 日  
 音楽部（邦楽） 岩崎繡園殿  
 2 月 13 日

### 事務局 日誌

### 会務報告

- 3・9 評議員会
- 平成21年度事業計画案について
- 平成21年度収支予算案について
- 3・14 理事会
- 彫塑部名称変更について
- 演劇部加盟申請の取り扱いについて

せんだいメディアアテーク  
 ☆仙台・光州画友交流会  
 3月26日～3月31日  
 東京エレクトロンホール宮城  
 展示室

☆仙台青葉荘教会  
 ☆書 in Miyagi  
 5月1日～5月6日  
 せんだいメディアアテーク

### 退会会員

〔絵画部〕（洋画）熊谷栄吉【書道部】大内紫雲（宏文）、佐藤智舟（智子）、山崎瑞峰（孜）、末永海鳳（敏雄）、山岸宣美【華道部】（龍生派）高橋広徳（とく）【音楽部】（洋楽）佐藤桂子、高野光子、陣内紀美子（阿部）（長唄）杵屋和加とし栄（佐々木とし子）、杵屋和加有芝原さか江、佐々木實【文芸部】（詩）滝村路鹿（氏家暁美）（短歌）近藤やよひ（やよ江）、西山淑子（俳句）菅井青宵（栄子）、丹野桂子（小説）樋口宗司【茶道部】（裏千家）三浦宗郁（郁子）（三彩流）山川佳泉（きみ子）、片岡緑風（阿喜子）（織田流）菅野南昌（マサ）（清水幽茗流）木村純古（カツエ）

### 小野寺事務局長が退任

小野寺有二事務局長が三月三十一日付で定年退職となりました。昭和五十六年一月から勤続二十八年余となりました。長年の勤務ご苦労さまでした。後任には伊藤勝友氏（元県保健福祉部参事兼国保医療課長、元県宅地建物取引業協会事務局長）が就任。ただし月・水・金曜の非常勤となる。

### 後 援

- ☆「母と子で楽しむ春の音楽会」
- 大学女性協会仙台支部創設60周年記念コンサート
- 3月14日
- 仙台市青年文化センター
- ☆第30回長井清流・四枝社中展
- 3月20日～3月25日

☆第5回ペーレ仙台尾形書道教室展  
 4月7日～4月12日  
 東北電力グリーンプラザ

☆河田勉成（陶）・佐瀬幸廣（絵）ふたり展  
 6月24日～7月3日  
 栗原市・一迫ふれあいホール

☆シニユーベルト歌曲の午後  
 4月12日

☆第55回全国公募東北書道展  
 6月26日～7月1日  
 せんだいメディアアテーク

ヤマハミュージック東北仙台店コンサートルーム

【写真部】小野寺善秋、斎藤政征、佐藤満雄

また事務局員に伊藤敏之氏が四月一日付で採用された。

## 新 入 会 員

【彫刻部】	黒 沼 理 映	989-4206	遠田郡美里町二郷字佐野七号19-1	0229-58-1871
【工芸部】				
〈染織〉	桑 原 恵美子	981-0911	仙台市青葉区台原三丁目18-5	271-2279
	吉 田 信 子	981-0912	仙台市青葉区堤町三丁目4-16	272-4679
〈ガラス〉	岩 橋 理 恵	989-3128	仙台市青葉区愛子中央五丁目5-23	391-9129
【書道部】	渡 辺 無 象 (郁子)	981-0931	仙台市青葉区北山三丁目1-5	271-8378
	菅 原 紫 雲 (久美子)	980-0065	仙台市青葉区土樋一丁目9-14-401	346-9545
	佐 藤 九 岳 (公一郎)	981-8003	仙台市泉区南光台七丁目24-74	251-8209
	郷右近 芳 仙 (栄子)	981-0901	仙台市青葉区北根黒松18-12	273-4853
	菊 池 慶 燁 (慶子)	981-3215	仙台市泉区北中山二丁目15-17	376-2851
	横 山 峻 燁 (信子)	981-0954	仙台市青葉区川平四丁目3-15	279-3288
【華道部】				
〈池 坊〉	小 原 華 琴 (琴江)	983-0845	仙台市宮城野区清水沼二丁目5-25	291-3319
〈草月流〉	松 谷 翠 薫 (薫)	981-0966	仙台市青葉区荒巻本沢三丁目1-38	274-3875
	阿 部 柳 峯 (靖子)	981-1106	仙台市太白区柳生一丁目11-2	241-2731
【音楽部】				
〈邦楽〉	三 塚 竹 幽 (奎吾)	981-0923	仙台市青葉区東勝山三丁目35-5	274-5101
	岩 崎 郷 山 (悌二)	981-3103	仙台市泉区山の寺一丁目20-8	372-3370
	田 村 雅 楽 徹 (恭子)	981-3109	仙台市泉区鶴が丘三丁目9-31	373-7547
	大 塚 歌 寿 峰 (泰子)	981-0905	仙台市青葉区小松島二丁目8-1	273-0759
【文芸部】				
〈短歌〉	菊 地 直 枝	984-0826	仙台市若林区若林六丁目8-7	285-2277
	丹 野 ひつ子	981-0103	宮城郡利府町森郷字町15	356-2027
	萩 生 初 江	981-3101	仙台市泉区明石南二丁目23-2	218-5224
	横 山 緋 沙	982-0021	仙台市太白区緑ヶ丘四丁目19-19	247-5394
	佐 藤 禮 子	984-0061	仙台市若林区南鍛冶町101-1-407	267-0755
	佐 藤 淑 子	981-3621	黒川郡大和町吉岡字天皇寺153	345-2568
	関 ケイ子	981-1224	名取市増田二丁目8-2	384-1075
	伊 藤 静 子 (シヅ)	982-0021	仙台市太白区緑ヶ丘四丁目22-3	246-4014
〈俳句〉	澤 口 和 子	981-0904	仙台市青葉区旭ヶ丘二丁目31-16	275-8351
	大 森 知 子	981-0411	東松島市野蒜字南余景68-141	0225-88-2381
	阿 部 志美子	985-0061	塩釜市清水沢二丁目26-17	367-3708
〈川柳〉	穴 戸 智 子	981-3132	仙台市泉区将監十三丁目18-10	372-9886
	笹 美 弥子 (美彌子)	981-1107	仙台市太白区東中田一丁目15-10	241-2082
	木 村 敏 子	989-6116	大崎市古川李塚字東田214-2	0229-24-3822
	本 村 靖 弘	981-3222	仙台市泉区住吉台東五丁目4-10	376-5494
	新 藤 孝 廣	981-3362	黒川郡富谷町日吉台二丁目30-5	358-9643
	福 士 武	980-0004	仙台市青葉区宮町一丁目4-11	265-2170
【茶道部】				
〈表千家〉	千 葉 宗 正 (正子)	985-0852	多賀城市山王字西町浦78-3	368-5662
〈織田流〉	武 田 南 蓉 (蓉子)	981-3122	仙台市泉区加茂二丁目25-5	378-5041
〈大日本茶会〉	福 田 恒 仙 (恒美)	981-8003	仙台市泉区南光台五丁目16-48	271-9566
〈煎茶三彩流〉	新 岡 景 祥 (啓子)	981-1232	名取市大手町五丁目8-12	384-1267
〈江戸千家〉	菊 地 宗 加 (加代子)	985-0853	多賀城市高橋五丁目19-13	389-0133
【写真部】	高 橋 義 江	987-0012	遠田郡美里町字素山町153	0229-32-4353
	大 沼 幸 衛	989-1303	柴田郡村田町薄木武久市16	0224-83-3334
	山 本 かつい	982-0011	仙台市太白区長町八丁目5-5-803	248-8335
	古 内 克 永	982-0836	仙台市太白区八木山松波町9-9	228-1064
【文芸部】				
〈小説〉	茂 堂 久 (久道 茂)	980-0812	仙台市青葉区片平一丁目4-10-1002	716-8483

# 世界遺産・武陵源と馬王堆漢墓など

平成二十一年度の第三十七回研修旅行は、七月五日(日)から十一日(土)までの七日間、世界遺産・武陵源と馬王堆漢墓などに決まった。

昨年はオリンピック開催にともない十一月と遅い時期であったが、今年は何年通り七月に実施される。

武陵源は湖南省北西部に位置し、原始からの雄大な自然がそのまま残る名勝地である。張家界国家森林公園、索溪峪自然保護区、天子山自然保護区、楊家界自然保護区の四地区からなり、総面積は二六四平方キロメートルにおよぶ。一〇〇〇メートルを超える石柱群、約八〇〇本の溪流や森林あり、洞窟あり、滝ありとほとんどすべての自然の造形物を網羅しており、訪れる人を仙境へといざなうであろう。一九九二年世界遺産に登録された。

張家界国家森林公園は武陵源の風景区の中でも一番開発が進んでいる地域である。



張家界の一景観

地殻変動により形成された三〇〇〇本以上の石柱は圧巻そのものである。

天子山自然保護区は、峰三〇〇〇と称賛される景観で武陵源随一といわれる。天子山は標高一二六二メートル。バスとロープウェイで容易に行くことのできる山頂の賀龍公園から林立する石峰の奇観を楽しむことができる。

長沙は湘江のほとりに開けた長い歴史を持つ緑ゆたかな街である。近代では毛沢東や黄興など多くの革命家を輩出した街でもある。

## 《旅程》

◇7月5日(日)

仙台空港15:25中国国際航空CA156便にて上海へ。17:45上海到着後国内線で張家界へ。武陵源泊。

◇7月6日(月)

天子山自然保護区観光。ロープウェイで天子山山頂へ。その後「空中廊下」と呼ばれる裏張家界をハイキング(約5キロ一時間半)。世界一の規模を誇る百龍エレベーターで326メートルを一気に下山する。武陵源泊。

◇7月7日(火)

張家界国家森林公園観光。黃石寨の山頂を経て金鞭溪の溪流沿いを散策。武陵源泊。

◇7月8日(水)

午前索溪峪自然保護区、鍾乳洞「黃龍洞」観光。午後、専用バスで長沙へ。長沙泊。

◇7月9日(木)

終日長沙市内観光。湖南省博物館、橘子洲、岳麓書院、愛晚亭など見学。長沙泊。

◇7月10日(金)

午前国内線で上海へ。到着後、上海博物館、外滩など市内見学。上海泊。

◇7月11日(土)

10:35中国国際航空CA155便にて帰国。14:25仙台空港着、解散。

## 《参加要項》

会費 二十二万五千元  
(空港税・燃料サーチャージを含む)

定員 三十名(最少催行人員十五名)

宿泊予定ホテル

武陵源 青和錦江国際酒店  
長沙 通程国際大酒店

上海 王宝和大酒店  
交通機関及び時刻は変更になることがあります。

○定員に達し次第募集を打ち切らせていただきます。

○申し込み後に不参加の場合、自分のキャンセル料を申し受けます。

## 「けやきの譜」

〔三日見ぬ間の桜かな〕世の中の変化の激しさを言うが春先の気候も「春の好天三日続かず」とかで初夏から冬へ逆戻りしたような天候の激変にたじろいだりもした。国内外のさまざまの動きはもちろん身辺でも▼三月から四月は卒業から進学へ、転職があれば定年退職もあり、それぞれ人生の大きな節目。それが新たな出発となるかどうかは、送る側送られる側の人生観にもよるが、何よりも心のこもった歓迎にしたいもの▼「手前みそ」と言う。昔は家ごとにみそを仕込んだ。このみそ、ぬかみそを指すこともあるらしい。「ぬかみそ臭い」は仕込んだぬか床を腐らす、つまり管理が悪いから匂うので、それを嫌い「ぬかみそ臭い女房」なども▼「肩に手をかけて話せば暖かし 大場白水郎」ともあれ季節は春、豊かな実りへの第一歩ではある。沈黙考、来し方を反芻し将来を見据えて英気を養い自己管理に努め日々を送られることを切に祈る。(純)

## 7月5日 11日 研修旅行の参加者募集